情　報　公　開　文　書

2025 年 1 月 17 日

研究の名称	ヒト側頭骨標本による内耳構造の三次元構築を用いた理学療法の理解
研究機関の名称	福島県立医科大学
研究責任者 （所属・氏名）	耳鼻咽喉科学講座・室野重之
研究の概要	【研究対象者】 福島県立医大耳鼻咽喉科で保管される側頭骨標本 【研究の目的・意義】 良性発作性頭位めまい症（BPPV）は、末梢性めまいの中で最多であり全体の約 4 割を占めます。その病態は、耳石器から耳石が脱落して三半規管内に迷入することが原因で、後半規管型 BPPV と外側半規管型 BPPV に対して特異的な理学療法により治療が行われています。健常者の CT 画像から骨迷路情報を抽出し作成されたこれまでの BPPV 治療練習用モデルでは、外側半規管型 BPPV に対して生体で治療とされる頭部回転よりも小さい角度で外側半規管から耳石が排出される問題があり、本来耳石が移動する膜迷路情報を用いた新しいモデルが必要となってきました。そこで、本研究では、福島県立医大耳鼻咽喉科に保管されている側頭骨標本から膜迷路情報を取得して、新しいモデル作成に役立てることを目的とします。 【研究の方法】 本研究では、Brodel(1946)による三半規管の三次元画像を元に膜迷路モデルを構築します。さらに、Brodel の画像は平均値によるため、個体差や種差を検討するため共同研究施設（福島県立医大耳鼻咽喉科）に出向して側頭骨の検鏡を行います。側頭骨標本の検鏡等から得られた内耳の解剖学的計測データにより膜迷路モデルの改良に役立て、理学療法に対する改良膜迷路モデルの有用性を検討します。 【研究期間】 実施許可日～　2027 年 3 月 31 日 【研究結果の公表の方法】 本研究の未発表データ等の情報及び本研究の結果の一部又は全部を学会，雑誌等外部に発表する場合には，研究責任者の責任のもと取り扱うこととします。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	カメラ・ルシダを双眼顕微鏡に装着し、標本を紙の上にスケッチします。スケッチは富山大学耳鼻咽喉科頭頚外科に持ち帰り、ソフトを用いて三次元構築を行います。側頭骨標本の検鏡等から得られた骨迷路および膜迷路の解剖学的計測データは共同研究施設（ジャパンメディカルカンパニー）に送り、膜迷路モデルの改良に役立てます。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	福島県立医科大学耳鼻咽喉科学講座・教授　室野重之 富山大学医学部医療機器イノベーション共同研究講座・客員教授 將積日出夫（研究代表者） ジャパンメディカルカンパニー・代表取締役 CEO　大野秀晃

研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者 試料・情報の提供を行う機関の長	福島県立医科大学　学長　竹之下誠一
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話　024-547-1321 FAX　024-548-3011 E-mail　jibika@fmu.ac.jp 担当者所属・氏名　耳鼻咽喉科学講座・室野重之